

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0045  
 住 所 東京都中央区築地7-17-1  
 氏 名 株式会社ニレイ・ロジスティクス関東 印  
 代表取締役 滋野 泰也  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ニレイ・ロジスティクス関東		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島6-15		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	低温物流業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,271	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	(株)ニレイ・ロジスティクスエンジニアリング
		所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島6-15
		電話番号	044-280-2024
		FAX番号	044-280-2032
		メールアドレス	

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成24年度 ~ 平成26年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	1. 推進体制の整備。 2. 管理マニュアルの作成、研修体制の整備。 3. 主要設備等の管理標準の定期的見直し。 詳細は、指針様式第1号(第4,5面)のとおり。
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	無し。
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	・グリーン購入の徹底。 ・廃棄物の減容化、リサイクル化の更なる推進。 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり。
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

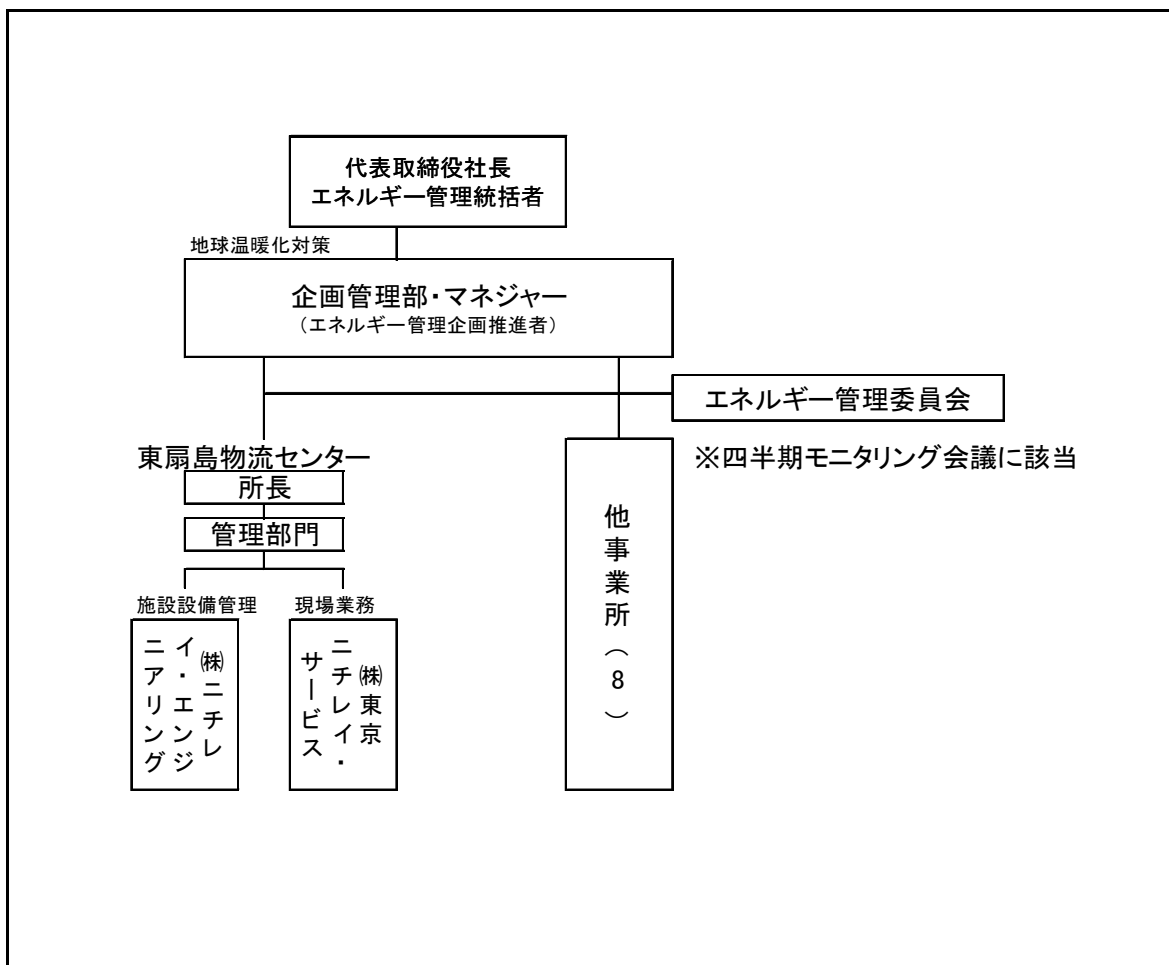
### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

**グループ全体基本方針**  
 ニチレイグループは、卓越した食品と物流ネットワークを備える企業集団として、「食」と「健康」の源である地球の恵みを次世代に引き継ぎ、「おいしさ」と「新鮮」を継続してお届けするため、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

①地球温暖化防止  
 ②持続可能な資源循環の推進  
 ③自然との共生

**市内事業所の基本方針**  
 当事業所は、ニチレイグループの環境方針に則り、特に物流面での温暖化効果ガス排出量の削減、廃棄物発生抑制、リサイクルの推進に注力しております。具体的には、首都高速インター近くの好立地とニチレイロジグループの総合力を活かし、保管、輸配送・流通加工ワンストップサービスを提供することで、荷主様の物流効率化を促進することにより、温暖化ガス排出量削減に寄与することを目指しております。一方、事業所運営にあたっては高効率照明の採用、エネルギー効率の高い冷凍機の採用と最適運転、きめ細かい空調管理等に努め、自所からの温暖化ガス排出量削減にも取り組んでおります。また、再生材パレットの積極利用、物流過程で発生するビニール包装材のリサイクル推進に努めております。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成23年度	目標年度	平成26年度
基準排出量	(実) 3,310 (調) 3,302 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 3,211 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0 %	削減量	(実) 99 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図る為、排出量原単位の値を年平均で1%以上削減する事を前提に目標を設定した。  
又、計画年度内に同一敷地内に増設棟の竣工が予定され、そこへ移転の計画があり、新設備での省エネルギー化を促進する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 推進体制の整備。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所各協力会社を含めた、定期的な取り組み報告を行う。</li> <li>・ 委員会での実施状況確認。</li> </ul> </li> <li>2. 管理マニュアルの作成、研修体制の整備。</li> <li>3. 主要設備等の管理標準の定期的見直し、改善。</li> </ol>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生エネルギー源等の利用については、当面は計画ない。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- ・事務棟屋上緑化。14.1m×14.1m 約200㎡ (平成22年度)
- ・冷蔵倉庫棟のLED照明の採用。1階プラットホーム、2,3,4,5階冷倉庫庫内。(平成22年度)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

無し。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. グリーン購入の徹底。
2. 廃棄物の減容化、リサイクル化の更なる推進。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,310	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,302	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島物流センター	川崎区東扇島6-15	4721	低温物流事業	3,310 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--